

臨床実習の心得

臨床実習は、将来の診療に備えるためのものであり、実際の診療現場で行います。診療現場（診察室）に白衣で臨むということは、病客（患者様）からは「医療人」としての視線で見られます。このことを念頭に置き、下記の留意事項を遵守し実習を行ってください。

（臨床実習に当たっての留意事項）

1. 指示された時間、場所に遅滞なく赴き、指導担当医に挨拶すること。
2. 毎日の出退に際しては、指導担当医に挨拶すること。
3. 病客、病院職員に挨拶すること。
4. 医師としてふさわしい言動をすること。
5. 病客の人権について注意すること。
6. 白衣、聴診器を持参すること。
7. ワイシャツ、ネクタイを着用すること。
8. 特に指示がない場合は本学の名札を着用すること。
9. 静穏を害する履物は履かないこと。
10. 茶髪、長髪、無精ヒゲは慎むこと。
11. 爪は短く切ること。
12. 病院内では携帯電話の電源を切ること。
13. 実習病院のカルテ、図書などの物品を院外に持ち出さないこと。

学生実習オリエンテーション（岡山大学医学部皮膚科 5年生）

注意事項

- 全出席を原則とします。
- 実習を欠席するときは申し出て、補習の予定を相談して下さい。
- 病棟実習（教授）、試問は形成外科を回っている班と共同でおこないます
- 入院棟東1 1階皮膚科病理診断室を使用してください。
- 備品（プロジェクター、顕微鏡など）は丁寧に扱って下さい。
- 講義室は飲食不可です。
- 鍵を返却すること。

共同講義や試問以外の実習予定は各病棟班の先生の指示に従ってください。
共同講義は優先してください。

集合場所

- 入院棟東1 1階皮膚科病理診断室：オリエンテーション、病棟実習（教授）、総回診、試問
- 病棟実習：東10階病棟
- 皮膚科外来予診室：外来実習
- 手術実習：手術室
- 特に指示のある場合はその場所に集合

集合時間

- 予定表のとおり

実習内容

オリエンテーション・発疹学：オリエンテーション、発疹学と皮膚科検査法を復習して臨床実習に入ります。

共同講義 病棟実習（教授）：数人の入院患者を診察した後、その疾患について講義があります。

手術実習

- 受け持ち患者の手術は入ってください。その他、手術見学の希望があれば指導医に相談してください。

病棟実習

- 入院患者診療の実際を体験するものです。
- 病棟主治医グループに組み込み、その主治医の受け持つすべての患者様についての検査、診断、処置を主治医とともに行います。
- 朝夕の病棟での処置、診察に参加できるよう各主治医と相談して実習時間を調整してください
- 自分の受け持ち患者について、学生用カルテに積極的に記載して下さい。実習の評価は処置や検査などへの取り組み方やカルテへの記載などに基づく受け持ち主治医による評価もされます。

外来実習

- 実際の処置や診療を見学します。
- 荷物は予診室において下さい（貴重品は除く）。指示に従って、グループに分かれ、患者様について、問診、視診、触診、聴診などを行います。
- カルテは学生用カルテ記入して下さい。
- 必要なら真菌検査、細胞診を自分たちでして下さい。（不明な点は処置の医師に確認すること）。診察、記録、鑑別診断、診断を行いそれぞれの疾患について頭に入れておいて下さい。
- 患者様のプライバシーに十分注意し、失礼のないようにして下さい。

総回診 木曜日 14:00~15:30

- 主治医のつもりで参加してください。受け持ち患者の症例提示ができるようにしておく。
- 回診のベットサイドで質疑応答ができるように把握しておいて下さい。

症例発表・口頭試問

- 病棟実習、外来実習で見た疾患についての知識を問われます。
- 病棟実習受け持ち患者の簡単なレポートを準備してください。
- レポート作成は講義室や病棟のPCを使用してください。